

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8233
担当部課名	保健所	中央保健センター	課	母子保健 班
事務事業名	母子健康教育事業		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	~63 年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

母子保健法 相模原市母子保健事業実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的 妊娠、出産及び育児に対する正しい知識の普及を図り、健康に関する認識と自覚を高め、母性及び乳幼児の健康の保持、増進に資することを目的とする。	(2) 対象(誰、何) 妊産婦、乳幼児とその保護者
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容 ・母親学級 48回 / 3,476人、 ・離乳食講習会 24回 / 1,378人 ・むし歯予防教室 36回 / 1,519人、 ・こどもの生活習慣病予防教室20回 / 340人 ・事後指導教室 = びよびよ教室24回 / 350人、 ひばり教室48回 / 1,146人 つばさ教室24回 / 421人、 ・地域における健康教育49回 / 1,315人 ・依頼による健康教育 1回 / 36人 賃金 818千円、報償費 1,406千円 需用費 475千円、役務費 57千円	(4) 総合計画・実施計画における概要 (総合計画) 保健サービスの充実 ・健康教育の充実 (実施計画) ・健康教育の実施、育児に関する教育事業の充実、事後指導を必要とする乳幼児の発育・発達指導の実施
	(5) 個別計画の概要 計画名 新さがみはら子どもプラン 計画年次 13年度 ~ 17年度 母と子の「安心」と「健康」を支援する環境づくり 母子保健サービスの充実 健康教育の普及

4 評価指標

指標名	事業参加率	事業参加満足度
指標式	事業参加者数 / 事業定員 × 100	事業参加満足者数 / 事業参加者数 × 100
指標設定の意図	参加率により成果を表す。	満足度により成果を表す。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	4,946	5,285	a 4,092	b 5,154	4,500	
指標	90	90	c 90	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	3,518	739	2,755	3,011	3,332
	人員・時間数	(16.0人)	(16.0人)	(16.0人)	(16.0人)	(18.0人)
	人件費	134,720	134,720	134,720	134,720	151,560
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	138,238	135,459	137,475	137,731	154,892
特定財源	497	0	1,163	704	834	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 84.7%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{4,092.0}{5,154.0} \times 100 = 79.4\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{90.0}{100.0} \times 100 = 90.0\%$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由 :	当日の子どもの体調不良で欠席がでること、離乳食講習会では子どもを預けて保護者のみの参加があることより、参加率はやや低くなる。事後指導教室では定員を設けており、対象児がいなかったり待機児がいたりするため参加率が変化する。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	核家族化が進み、地域との結びつきが希薄になっている中での育児であるため、それを支援していく必要がある。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	参加費は無料となっている。非常勤職員を活用し、経費削減に努めている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	母親父親教室は無料で(民間は有料)、仲間作りを目的としていることから市での実施が妥当と考える。また、発達の遅れのある乳幼児を対象とする事後指導教室の開催は、民間では難しいと思われる。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	開催回数を増やしてほしいとの声があることから、検討の余地はある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	近くに相談相手がいない中で育児を行っている母親にとって、悩みを相談でき、他の母親との交流ができる場として有効であると思われる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 教室内容、開催場所等、参加者の満足が得られていない部分を検討していく必要がある。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : スタッフの人員確保、乳幼児の経過観察のために必要な経費である。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	核家族化、情報の氾濫、相談相手のいない中での孤かな育児をしている母親にとって、育児の悩みを相談でき、他の母親と交流が持てる場は必要であり、児童虐待の予防にもつながるものと思われる。今後も地域全体で育児を支援する必要がある。	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了	説明		

8 二次評価における変更点

--